

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比変化する可能性があることにご留意ください。

文中の付表に掲載している計数は、それぞれを原則四捨五入しております。また、金額が損失または減益の場合には、△を付しております。

平成18年5月23日

平成17年度決算発表

それでは、三井住友フィナンシャルグループの平成17年度決算についてご説明いたします。

お手元には、「平成18年3月期決算短信（連結・個別）」と「平成17年度決算説明資料」の2種類の資料をお配りしております。

それでは、決算内容について「平成17年度決算説明資料」に基づいてご説明いたします。

なお、当資料における【単体】は三井住友銀行の単体計数、【連結】は三井住友フィナンシャルグループの連結計数でございます。

【三井住友銀行の単体業績】

まず、1頁をご覧ください。三井住友銀行の単体損益についてご説明申し上げます。

表の中ほど22行目の（一般貸倒引当金繰入前）業務純益は、前年比251億円増益の9,656億円となりました。

1行目の業務粗利益については、投信販売の好調等による役務取引等収益の増加を主にマーケティング部門収益が着実に増加したことから、前年比292億円増益の15,521億円となりました。

18行目の経費につきましては、人員削減による人件費の削減を行う一方、重点分野に対する積極的投資により物件費が増加したこと等から、前年比41億円増加の5,865億円となりました。

【三井住友銀行単体】

(金額単位 億円)

		17年度	16年度比	16年度
業	務 粗 利 益	15,521	292	15,229
経	費（除く臨時処理分）	△ 5,865	△ 41	△ 5,824
業	務 純 益（一般貸倒引当金繰入前）	9,656	251	9,405

次に、臨時損益に移ります。

28行目の不良債権処理額に24行目の一般貸倒引当金繰入額及び44行目の過年度償却済み債権に係る回収益であります償却債権取立益306億円を加えた与信関係費用は、1番下の51行目に記載しております通り2,309億円と前年比大幅に減少しております。

これは17年3月期において、将来リスクへの対応力強化としての貸倒引当金の積み増しを含め、バランスシートのクリーンアップを図ったこと等によるものであります。

[三井住友銀行単体]		(金額単位 億円)		
		17年度	16年度比	16年度
一般貸倒引当金繰入額	24	△ 1,550	△ 5,065	3,515
臨時損益	27	△ 897	12,740	△ 13,637
不良債権処理額	28	△ 1,065	11,998	△ 13,063
特別損益	39	257	541	△ 284
うち償却債権取立益	44	306	304	2
与信関係費用(24+28+44)		51	△ 2,309	7,239
				△ 9,548

(注) 平成17年度より償却債権取立益を与信関係費用に含めております。

33行目の株式等損益につきましては、堅調な株式相場環境の下、567億円の売却損益(34行目と35行目の合計)を計上したことにより255億円のプラスとなりました。

[三井住友銀行単体]		(金額単位 億円)		
		17年度	16年度比	16年度
株式等損益	33	255	1,442	△ 1,187
株式等売却益	34	701	△ 430	1,131
株式等売却損	35	△ 134	△ 92	△ 42
株式等償却	36	△ 312	1,964	△ 2,276

以上の要因により、38行目の経常利益は、前年比7,926億円増益の7,209億円となりました。

特別損益につきましては、39行目にあります通り、257億円の利益計上となっております。先程申し上げました44行目の与信関係費用に含まれる償却債権取立益を除きますと、49億円の損失計上となります。

法人税等につきましては、海外店で支払った税金等135億円(47行目)を計上しております。

また、49行目の税効果会計による法人税等調整額は、財務の健全性確保の観点から引き続き保守的に対応した上で、2,136億円の会計上の税負担となっております。

以上の結果、50行目の当期純利益は、前年比6,563億円増益の5,195億円となりました。

【三井住友銀行単体】

(金額単位 億円)

				17年度	16年度比	16年度								
経	常	利	益	38	7,209	7,926	△ 717							
特	別	損	益	39	257	541	△ 284							
税	引	前	当	期	純	利	益	46	7,466	8,467	△ 1,001			
法	人	税、	住	民	税	及	び	事	業	税	47	△ 135	△ 71	△ 64
還	付	法	人	税	等	48	—	△ 82	82					
法	人	税	等	調	整	額	49	△ 2,136	△ 1,751	△ 385				
当	期	純	利	益	50	5,195	6,563	△ 1,368						

【三井住友フィナンシャルグループの連結業績】

次ページには三井住友フィナンシャルグループの連結ベースの損益の内訳をお示ししております。

連結の損益状況は、三井住友銀行の増益を主因に16行目の経常利益が前年比9,939億円増益の9,636億円、25行目の当期純利益が前年比9,210億円増益の6,868億円となりました。

【三井住友フィナンシャルグループ連結】

(金額単位 億円)

				17年度	16年度比	16年度							
連	結	粗	利	益	1	20,902	652	20,250					
営	業	経	費	7	△ 8,538	△ 11	△ 8,527						
不	良	債	権	処	理	額	8	△ 3,336	8,632	△ 11,968			
株	式	等	損	益	13	471	1,490	△ 1,019					
持	分	法	に	よ	る	投	資	損	益	14	319	48	271
そ	の	他	15	△ 182	△ 872	690							
経	常	利	益	16	9,636	9,939	△ 303						
当	期	純	利	益	25	6,868	9,210	△ 2,342					

【有価証券評価損益】

次に有価証券の評価損益について、4頁をご覧ください。

中段に三井住友銀行単体の有価証券評価損益を取り纏めております。表中の「その他有価証券」の評価損益は、株式は16,324億円のプラス、債券は2,822億円のマイナス、その他は340億円のマイナスとなり、全体では13,162億円のプラスとなりました。

[三井住友銀行単体]

(金額単位 億円)

	18年3月末			
	評価損益			
		17年3月末比	評価益	評価損
その他有価証券	13,162	6,648	16,956	△ 3,794
株式	16,324	9,651	16,499	△ 175
債券	△ 2,822	△ 2,899	8	△ 2,830
その他	△ 340	△ 104	449	△ 789

【B I S 自己資本比率】

7頁は、連結自己資本比率について、お示ししております。

18年3月末の連結自己資本比率は、当期純利益の計上や本年1月以降の資本調達を主因に、速報値で17年3月末比2.45%改善し12.39%となりました。

[三井住友フィナンシャルグループ連結]

	18年3月末		17年3月末
	[速報値]	17年3月末比	
自己資本比率 (%)	12.39	2.45	9.94

【不良債権の状況】

次に不良債権の状況についてご説明いたします。

8頁をご覧ください。

金融再生法に基づく開示債権残高については、
破産更生債権及びこれらに準ずる債権は、

1,645億円

危険債権は、4,734億円

要管理債権は、3,222億円

合計では、17年3月末比8,645億円の削減を行い、9,601億円となりました。

また、正常債権を含めた与信合計に対する比率は1.7%となり、17年3月末の3.3%からほぼ半減したことになります。

[三井住友銀行単体]

(単位 億円、%)

	18年3月末	17年3月末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,645	△ 2,838
危険債権	4,734	△ 4,510
要管理債権	3,222	△ 1,297
合計(A)	9,601	△ 8,645
正常債権	559,849	25,323
総計(B)	569,450	16,678
不良債権比率(A/B)	1.7%	△ 1.6%

次に、債務者区分ごとの引当率は、

破産更生債権及びこれらに準ずる債権は、アンカバー部分に対して100%

危険債権は、アンカバー部分に対して100%

要管理先債権は、アンカバー部分に対して52.6%

正常債権のうち、

その他要注意先は、債権額に対して7.3%

正常先は、債権額に対して0.4%となりました。

【繰延税金資産】

次に、18頁をご覧ください。

(1) 繰延税金資産の計上額及びその発生原因別内訳を記載しておりますが、18年3月末計上額は、税引前利益の計上による回収やその他有価証券の評価益増加に伴う繰延税金負債の増加により、17年3月末比5,260億円減少し9,762億円(16行目)となりました。

なお、三井住友フィナンシャルグループ連結ベースでの繰延税金資産のTier I比率は21.6%で、18年3月末における自己資本比率計算上の算入制限の40%をクリアしております。

[三井住友銀行単体]

(金額単位 億円)

		18年3月末	17年3月末比	17年3月末
繰延税金資産の計上額	16	9,762	△ 5,260	15,022
その他有価証券評価差額金の繰延税金負債相当額	17	△ 5,362	△ 2,717	△ 2,645
上記以外	18	15,124	△ 2,543	17,667

【18年度業績予想】

続きまして、平成18年度の業績予想について、説明資料の20頁をご覧ください。

まず、三井住友フィナンシャルグループ単体の18年度業績予想ですが、営業収益3,600億円、経常利益3,550億円、当期純利益3,550億円を見込んでおります。

18年度の株式配当金については、普通株式は内部留保の水準等を勘案し、17年度対比1株当たり1,000円増額の4,000円、優先株式配当は所定の配当を行わせて頂く予定であります。

[三井住友フィナンシャルグループ単体]				(金額単位 億円)	
				18年度予想	
営	業	収	益	3,600	
経	常	利	益	3,550	
当	期	純	利	益	3,550

次に、中段の連結業績予想であります、

経常利益 10,100億円
当期純利益 5,700億円

を見込んでおります。

なお、三井住友銀行単体の業績予想は最下段の通り

業務純益 9,400億円
経常利益 7,800億円
当期純利益 4,600億円
与信関係費用 △ 1,700億円

を見込んでおります。

【17年度実績と18年度経営方針】

次の21頁には「平成17年度実績と平成18年度経営方針」をお付けしております。

まず、平成17年度につきましては、

「中期経営計画初年度における確固たる収益水準の確保」を経営方針として掲げ、

- ・ 重点分野への積極的な経営資源投入を通じた収益拡大
- ・ クレジットコストの巡航速度化

を図りました結果、先程も申し上げました通り、予想を上回る利益水準を確保するとともに、金融再生法開示債権残高及び不良債権比率についても目標を超過達成することができました。

次に、平成18年度につきましては、

「持続的成長に向けた地歩固め」を経営方針としております。

具体的な施策と致しましては、

まず、「お客さまの価値創造に資する質の高い商品・サービス」のグループベースでの提供推進のために、

個人ビジネスの分野においては、

- ・ コンサルティングビジネスの一段の高度化
- ・ アライアンスを通じたサービスの拡充

法人ビジネスの分野においては、

- ・ 経営課題解決型ビジネスの強化
- ・ 多様な資金調達ニーズへの対応

を通じて、「顧客基盤の拡大」と「質の高い収益体質の構築」をめざしてまいります。

次に、「強固な企業基盤の構築」のために、

(1) 内部管理体制の一段の高度化として、

- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ 品質向上・CS推進体制の強化
- ・ リスク管理の高度化
- ・ 内部監査の強化
- ・ 業績評価制度の見直し、人材マネジメントの高度化

を図り、

(2) 財務基盤の一段の強化として、

先程18年度の業績予想で申し上げました利益水準を確保し、公的資金の早期返済を行うことにより資本の質・量両面での拡充を実現してまいりたいと考えております。

以上で説明を終わらせていただきます。

以 上

(ご参考①) 平成17年度実績と平成18年度経営方針

平成17年度実績

経営方針: 「確固たる収益水準の確保」

重点分野への積極的な経営資源投入を通じた収益拡大

	<17/3期実績>	<18/3期予想※>	<18/3期実績>
SMFG連結当期純利益	▲2,342億円	4,600億円	6,868億円
銀行単体当期純利益	▲1,368億円	3,500億円	5,195億円

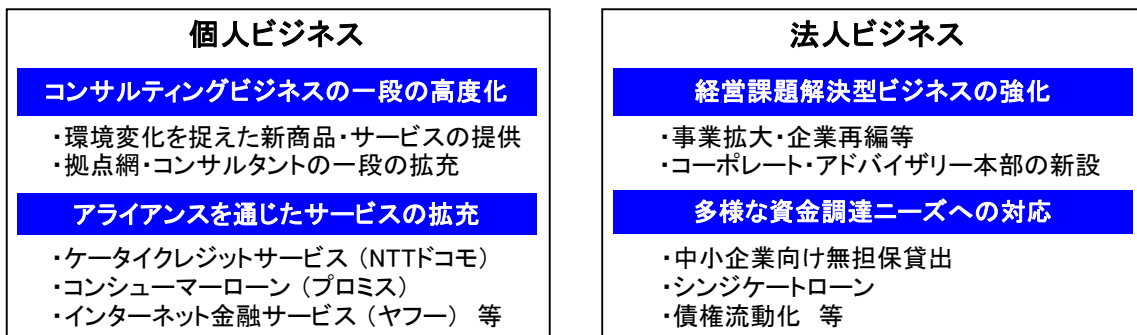
クレジットコストの巡航速度化

	<17/3期実績>	<18/3期予想※>	<18/3期実績>
【三井住友銀行単体】			
与信関係費用	▲9,548億円	▲3,000億円	▲2,309億円
金融再生法開示債権残高	1兆8,246億円	1兆円程度	9,601億円
不良債権比率	3.3%	2%程度	1.7%

※17年5月決算発表時予想

「平成18年度経営方針: 「持続的成長に向けた地歩固め」

「お客さまの価値創造に資する質の高い商品・サービス」のグループベースでの提供推進



顧客基盤の拡大

質の高い収益体質の構築

強固な企業基盤の構築

(1) 内部管理体制の一段の高度化



(2) 財務基盤の一段の強化

資本の質・量両面での拡充

<平成18年度予想>

SMFG連結当期純利益 5,700億円

銀行単体当期純利益 4,600億円

公的資金の早期返済